群馬経済研が推計
40年の県人口158万人

になるとの推計を発表した。吉岡町を除く34市町村で減少し、伊勢崎、太田両市を除く32市町村は2桁の減少率になると見込んでいる。

年齢区分では、0～72・3％減。神流、人口に、出生と死亡、160万人確保する人口ビジョン案をまとめた。婚姻増加や子育て環境の整備、働き口の確保などの対策を立てて減少ペースを抑える考えだ。

歳以上の老年人口は8万8千人増加する。市町村別で最も減少率が大きいのは南牧村で、は吉岡町だけで、10・5％増だった。推計は現在の性別、5歳ごとの年齢階級別

「頭文字D」聖地にカフェ

渋川のクレヨン
豆乳使ったプリン提供

「各地から車好きが集まるカフェにしたい」と話す岡田社長

プリン専門店のクレヨン（渋川市渋川、岡田誠社長）は18日、同店近くに漫画「頭文字D」（イニシャル）を開く。漫画の主人公が渋川出身として描かれていることを受け、カスタムカーを展示して作品ファンや車好きに広くアピールする。

メーン商品のプリンは、家業が豆腐店の主人公・藤原拓海にちなんで豆乳を使ったもの

「出る杭育てて」

みやまクラブ総会で講演

群馬銀行の取引先でつくる親睦団体、東京みやま倶楽部（今泉嘉久会長）は15日、都内で総会を開いた。グーグル日本法人元社長で、IT企業のアレックス社長の辻野晃一郎さんが「成功体験はいらない」と題して講演、会員約30人が耳を傾けた。

辻野さんはインターネットの出現が世の中を大きく変革させたと指摘した上で、「私たちの常識を覆すビジネスモデルが急成長している」と語った。過去

講演する辻野さん

の延長線上での考え方を改め、「出る杭を探して育てる世の中にしていきたい」と強調した。

総会では新年度の予算案や事業計画案が承認された。

など5種類を開発した。漫画を出版する講談社の公式ライセンスを得ている。180ミリリットル入り600円（税別）。

店の広さは約160平方メートル。一部のいすにスポーツ車用シートを使い雰囲気を高めた。屋外には主人公らの愛車をイメージした車両を複数展示する。

プリンのほかにソフトドリンクも提供し、今後はカレーやロールケーキもメニューに加える考えだ。岡田社長は「漫画の舞台になった榛名山麓は車好きの〝聖地〟。イベントを開いて地域を盛り上げていきたい」と話している。

19～21の3日間、オープニングイベントを開く。19日は頭文字Dのキャンペーンガールが、21日は元富士重工業のデザイナー、手島彰さんが来場する。問い合わせは同店（☎0279・26・2880）へ。

県民に親しみの深い上毛かるたをデザインした商品を

キリ

の文字をデザインした。県内限定で、1万ケースの販売を予定している。

同支社は「群馬で生まれ育った人はもちろん、県外から来ている人にも、群馬の話題で盛り上がってもらいたい」とPRしている。

栄光製作所（富岡）ハートフル（高崎）

ダイバーシティ企業に選定

経産省

女性や外国人、障害者など、多様な従業員が能力を発揮し、技術革新を生み出している企業を選定する経済産業省の「新・ダイバーシティ経営企業100選」に、県内から電子機器製造の栄光製作所（富岡市神農原、勅使河原覚社長）と、介護福祉事業を手掛けるNPO法人ハートフル（高崎市石原町、桜井宏子理事長）の2事業所が選ばれた。16日、都内で表彰式が開かれた。

栄光製作所は女性や外国人の従業員を短期間で育成し、職場の即戦力としている。ハートフルは誰もが働きやすい環境を整えたことで従業員の満足度が高まり、提供するサービスの質も向上した点が評価された。

「ダイバーシティ経営企業100選」は2012年度に始まり、本年度は「長時間労働是正等の働き方改革」「外国人の活躍推進」などの重点テーマを設けて刷新した。県内では14年に桐生市の介護事業者「COCOーLO」が選定された。

県内ガソリン5週ぶり上がる

経済産業省資源エネルギー庁は16日、県内のレギュラーガソリンの平均小売価格（14日現在）が1リットル当たり前週比70銭高の109円